

**「がん検診は、線虫のしごと」好評発売中！**  
**早期発見のための がん1次スクリーニング検査 の全貌を紹介**  
**生物が持つ驚くべき力を活用、新しいがん検診のあり方を提言**

がんのリスクを簡便・高精度かつ安価に調べられる 線虫がん検査「N-NOSE（エヌ・ノーズ）<sup>®</sup>」の開発を行う 株式会社 HIROTSU バイオサイエンス(本社：東京都港区、代表取締役：広津崇亮)より、当社代表であり生物学者でもある広津崇亮が初の著書を上梓したことをお知らせ致します。



本書では、日本のがん検診の現状を踏まえ、著者がなぜ「線虫を用いてがん患者尿と健常者尿を見分ける検査」を発明するに至ったのか、この研究の真髓が明らかにされるほか、学术界に長年身を置いた“研究者”が一念発起して“経営者”へ変容していく様などが著されています。

たった約1ミリの生物「線虫」に秘められた能力に、多くの方からの関心が寄せられたことで、今回の書籍化が実現しました。医療とエンターテインメントを組み合わせるなど、常識に捉われない手法で啓発活動にも力を入れる著者の＜発想力の源＞にも迫る内容となっており、新しいがん検

査に興味がある方はもちろん、研究やビジネスの世界で躍進を目指す方にも推薦したい一冊です。ぜひお手にとってお読みください。

### 【本の内容】

2015年3月、「線虫が、非常に高い精度でがん患者の尿の匂いを嗅ぎ当てる」という論文が米科学誌に掲載され、報道番組でもトップニュースとして報じられた。研究者だった著者は、その後起業し、実用化に向けた研究を重ね、医学界への普及活動に邁進してきた。たった尿一滴で、ステージ0の段階からがんが検知されることで、がん治療はどう変わるのか。なぜ、線虫だったのか。検査に機械ではなく生物を用いる「生物診断」の可能性は？ 各種メディアで注目の研究者・経営者が、自身の歩みや、誰も思いつかなかった研究を生み出した発想法、研究者を目指す若者への提言などを交えつつ、2020年の線虫がん検査「N-NOSE(エス・ノーズ)」実用化で大きく変わるがん検診とがん治療の今後の展望を伝える。

### 【著者プロフィール】

広津崇亮(ひろつたかあき)1972年山口県生まれ。株式会社 HIROTSU バイオサイエンス代表取締役。私立東大寺学園高校卒業。1997年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。同年サントリー株式会社に入社。翌年退社し、東京大学大学院博士課程に入学。線虫の嗅覚に関する研究を開始。2000年3月、線虫の匂いに対する嗜好性を解析した論文が英科学誌『ネイチャー』に掲載。2001年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。博士(理学)。日本学術振興会特別研究員、京都大学大学院生命科学研究科研究員、九州大学大学院理学研究院助教などを経て、2016年より現職。2018年よりオーストラリアのクイーンズランド工科大学招聘准教授。〈受賞歴〉井上研究奨励賞、中山賞奨励賞、ナイスステップな研究者(文部科学省)など。

### 【書誌情報】

定価：886円(税込)

判型：新書

頁数：232ページ

発行：光文社

ISBN：9784334044299

<https://www.amazon.co.jp/dp/4334044298/>

\* 『N-NOSE』は株式会社 HIROTSU バイオサイエンスの登録商標です。

#### <報道機関お問合せ先>

株式会社 HIROTSU バイオサイエンス [担当：永溝、日暮]

〒107-0062 東京都港区南青山 2-24-11 フォーラムビルディング 2F

電話：03-6277-8902 E-mail：press@hbio.jp